

令和2年8月7日（金）1学期放送終業式

明日から夏休みに入ります。夏休みを迎えるにあたって、私から少し話をします。よく聞いてください。

新型コロナウイルス感染拡大のため、3月以降、全国の学校が休校になりました。卒業式も入学式も在校生は参加できず、当該学年とお家の方、先生たちだけという異例の形になりました。そして、5月の分散登校を経て、何とか6月に学校再開。当たり前に登校して、授業を受けて、部活動に取り組んで…という当たり前の学校生活がいかに大切だったかということを感じ知らされました。例年行っていた行事は実施できず、夏の大会やコンクールも中止になる状況で、特に3年生にとっては悔しい想いがたくさんあったのではないのでしょうか。けど、そんな中でも、みなさんは、今できること、やらなければならないことに真剣に一生懸命に取り組んでくれました。そんなみなさんの様子をととてもうれしく、頼もしく思った1学期でした。

下火になってきたかと思われた新型コロナウイルスですが、再び感染者が増加傾向にあり、油断のできない状態が続いています。

今回のコロナウイルスは、世界の在り方を大きく変えたといっても過言ではありません。新しい生活様式が提唱され、不自由な生活が余儀なくされています。その一方で、テレワークやオンラインなど、これまでの働き方や社会生活が見直されてきています。人間には知恵があります。対応力があります。こうした、大変な事態も必ず乗り越えていけると信じています。「雲の向こうはいつも青空」とか「明けない夜はない」などという言葉があるように、当たり前の学校生活をいずれ取り戻すことができるはずで、その時期を少しでも早くするために、皆さんは、休み中も感染防止を徹底し、感染症にかからない、うつさないといったこれまでの生活を継続してください。

例年より短い夏休みですが、8月21日の始業式を、そろって無事に迎えられるよう願っています。有意義な休みを過ごしてきてください。

これで、お話を終わります。